

# 北陸地方のキリスト教保育史

## — J.K.U. 年報からの翻訳と解説 (6) —

### The History of Christian Early Childcare and Education at Hokuriku District — A Translation and the Interpretation from the J.K.U. Annual Report (6) —

山 森 泉\*

#### 要旨

本稿は、『ANNUAL REPORT OF THE JAPAN KINDERGARTEN UNION (1928 - 1939)』6巻、1928年(昭和3年)から1939年(昭和14年)に収められた記事のうち、富山・石川・福井の北陸三県に関する幼稚園記事の翻訳と、それぞれの内容に関連する事項を記した「補説」をまとめたものである。「J.K.U. 年報」におけるキリスト教幼稚園の成立と経緯を縦断的横断的に把握するための基礎資料として、『北陸学院大学・短期大学部紀要』第1号に続くものである。

キーワード：J.K.U. / 北陸地方キリスト教幼稚園 / 昭和初期

#### 1. はじめに

本稿は『Annual Report of the Japan Kindergarten Union』(J.K.U. の年次報告) から、北陸地方(石川、富山、福井)に関する部分を翻訳し、他資料に基づく関連事項からなる「補説」をまとめたものである。『北陸学院大学・短期大学部研究紀要』第1号<sup>1)</sup>から続いており、『北陸学院短期大学紀要』に掲載されたものを含めると第6報<sup>2)</sup>に当たる。今回訳出した巻数は、22号から第30号、年代では1928(昭和3)年から1939(昭和14)年の報告である。

#### 2. 第22号(1928年、昭和3年)

該当する記事はない。

【補説】「Picture Report」と題されている1928年は、年次総会の記録のほかは29枚の写真が主であり、戸外活動・室内活動・作業活動、健康活動の4部構成になっている。

総会は7月25日に開催された。欠席したミス・ライザーに代わり、ミス・ステープルが会計報告

を務めた。各支部報告の内容は含まれていないが、北陸支部報告は当時福井の旭幼稚園と栄冠幼稚園の園長であったミス・ギレスピーが行ったことが記されている。

#### 3. 第23号(1929年、昭和4年)

##### 1頁 幼稚園と家庭

幼稚園と家庭という大テーマのもと、いくつかの小テーマに分類されている。

##### 人格を陶冶する幼稚園の影響

1頁 ユキオさんの家は富山市の郊外にある。彼の父は教師であり、学者で詩人として都会にまでよく知られている。母親は日本女子大学出身の魅力的で小柄な女性で、学問への関心と偏見にとられない心を兼ね備えていた。ところが、断固とした自分の考えを持つ二人の子どもの母親であることを自覚したとき、母親としての責任は実に大きく立ちはだかつており、その務めを前にすると自分の能力はとても微々たるものに思えた。

彼女にとって幸運だったのは、ユキオさんが満3歳になって「青葉幼稚園」※に入園したことである。彼は誰かの後についたり周囲を気づかうという考えが全くなく、これまで自分の思い通りに

\* Izumi YAMAMORI  
北陸学院大学 人間総合学部 幼児児童教育学科  
日本語表現法

してきていた。そのため、彼はその幼稚園の多くの問題児の一人となった。彼は絶えず通りでジャンプしたり駆け下りたりしようとし、そうでなければ、ポケットからお菓子を出して食べようとした。または、床にべたっと寝転んだり床を踏みつけたり、時には悲鳴を上げたりもした。彼は家でし慣れているように、幼稚園の遊具やもっとも面白い遊具でさえも、全く気にも留めずに壊した。

父親は、破壊的な傾向が出たときに幼稚園が子どもの生まれつきの気質をおさえつけるのではないかと危惧した。母親は、初めのうちは幼稚園の教育効果についてさまざまに心が揺れ動き、子どものことを思って泣いた。しかし、ついに幼稚園はやり遂げた。

今では歌やゲームを習い、道具を用いて浮かんでくる考えを表現し、遊び仲間と競い合うようにして先生に従う幸せそうな小さな男の子を目にして、彼が2年前の問題児と同一であると信じる者はいないだろう。彼は日曜学校にいつも出席し、あらゆることを期待されていた。彼は聖書の本文を相当暗記しており、また、愛する目には見えない父なる神に祈ることを覚えた。

M. アームストロング、青葉幼稚園 富山。

【補説】※原文では「Kindergarten of the Little Green Sprout」と表記されている。本文最後のアームストロングは「青葉幼稚園 (Aoba Kindergarten)」との記載があり、また富山市郊外にある家庭」ということから、東分園または橋北分園であると考えられる。(巻末資料参照)

### 3頁

ユリコさんは幼稚園を卒業して一年生に入学した。彼女は幼稚園に戻って教師たちを訪ねたいと思っていた。休みの日に時々、彼女はお気に入りの先生にかわいい着物の帯を結んでとお願いしに園に寄ろうとした。家では、小学校のことより幼稚園のことをより詳しく話した。

ある日突然、彼女は病気になった。かなり重症で、すぐに病院に連れて行かねばならないほどだった。小さな身体はひどい痛みを苦しんだが、彼女は文句を言わなかった。彼女は幼稚園のことを話し、幼稚園で習っていたお祈りの言葉を唱えた。そして彼女が亡くなった時、その小さな手は

お祈りをする形に組まれていた。

「彼女はよい子だったわ」と看護婦は明言した。

子どもは時々、母親の助けを借りて弱点を克服する。ジロウちゃんは暗闇を怖がった。夜「寝る時間よ」と母親が言うと、彼は泣きごとを言って一人で二階に行くことを拒むので、母親は彼と一緒にいった。彼を無事に毛布で包んで、明かりをつけたままにして母親は階下に戻った。

ある晩、彼がベッドに行くことを渋ったとき、母親は言った。「ジロウちゃん、おまえは幼稚園で聞いてきた神様についてよく私に話してくれる。おまえは、神様はどこにでもいて人々を助けてくれると言う。おまえが寝るときに、どうして神様に自分を守ってくれるように頼まないのかしら。」小さな男の子は納得して、ずっとお祈りをしながら自分の部屋へ行く急な階段を上っていった。「天にいます神様、僕のそばにいてください。お化けを近寄らせないでください。何も僕に触れさせないでください。」と。彼は震えながらもほんの少しの時間で無事ベッドにたどりついた。次の晩はもっとたやすくできるようになり、数日後に彼は母親にうち明けた。「ね、今は僕ちっとも怖くないよ。何も僕に触らないように神様が僕を守ってくれるからね。」

I. ライザー 金沢と高岡の幼稚園

### 11頁 「聖書への関心の始まり」

「種としての聖書の言葉」

幼稚園にいる一年か二年の間に、子どもたちは実にたくさんの聖句を覚える。一人の賢い男の子はまだ幼い子だったが、ある日家に帰って、詩篇23篇を暗誦し始めたところ、全部覚えていなかったのもので母親に助けを求めた。

彼女はこれまでキリスト教に興味を持ったことがなかったので、残念なことに彼を手助けしてやれなかった。自分が習って覚えている内容を母親が知らなかったことに子どもがひどくがっかりしたので、彼女は息子の暗唱作業を手伝うために自分も聖書を手に入れなければと思った。その晩彼女は、先生のところに行って聖書を購入した。子どもと様々な聖書の言葉を習うにつれて彼女もまた興味を持ち、定期的にバイブルクラスに出るようになった。この夏、彼女の別荘に近所の人や友

人を招待して、二度キリスト教の集会を開いた。

J. C. ギレスピー 栄冠幼稚園、福井

#### 14 頁 子どもの祈りと信仰

サチコさんはかわいらしい少女で、ヤスコさんの友人だった。二人の母親も、母の会とバイブルクラスで仲の良い友達になった。サチコは幼稚園で教えられていたように、食事の前と寝る時にいつもお祈りをしたかったので、母親はキリスト教に興味を持った。

その子が母親に祈ってと頼んだ時、母親はどうやって祈るのかわからず、自分も学ぶ必要があると思ったので、彼女は幼稚園の教師のところに来てすぐにバイブルクラスに加わった。

ある日サチコは病気になった。毎日毎日彼女は病院で横になり、時々幼稚園の道具で遊んでいたが、ほとんど何もできないほど弱っていた。彼女はよく幼稚園の歌や賛美歌を楽しんで歌い、毎晩母親と一緒に祈った。

彼女は神の愛について、子どもらしい立派で素直な信仰を持っており、自分が神のもとへ召されようとしていることを知っていた。母親は姑がキリスト教の葬儀を許そうとしないことでひどく困惑し、胸は張り裂けんばかりであったが、サチコが愛する天の父の庇護の中にあることを知って、慰めを得られるようになった。

それ以来、両親はひたむきな望みを表明してキリスト教徒になった。

豊かな人生と喜びにつながる狭い道に多くの子どもたちや両親を導く教師たちの上に、神の支えと恵みと愛が与えられるように祈っている。

E. L. ベーツ

#### 【補説】

この記事には園名が記されていないが、ミス・ベーツは当時、川上幼稚園・十四番幼稚園の園長であった。就任は1928年4月であり、十四番幼稚園（現在の清泉幼稚園）の記録には、1929年第3回終了園児34名とともに撮影された写真が残っている。<sup>3)</sup>

J.K.U.の巻末リストでは、1931年からは川上幼稚園、十四番館幼稚園の園長として掲載されている。

#### 17 頁 禁酒と健康

ひな祭りの節句で子どもたちに甘酒を振る舞う習慣があるため、私たちはいつもお祭りの1～2週間前は禁酒することを強く訴え、自分の家や友達の家で甘酒が出されても飲まないように求めていた。さらに、酒が心身の組織に及ぼす弊害について、子どもたちに簡潔にわかりやすく説明した。子どもたちは父親に飲酒をやめるようにしきりに頼む。私たちは子どもたちに禁酒歌を教えている。子どもたちはこの歌が好きで、心から楽しんで家で歌うので、彼らの両親は困惑した。

最も古い公的な記録では、3年前7歳の男の子が、夕食時にワインを飲む父親を見たことが残っている。カズオさんは、アルコールが体を弱らせる影響について学んだことを伝えた。父親は困って話題を変えようとしたが、毎夜同じことが繰り返され、カズオさんは連日毎晩禁酒歌を歌った。結局1週間後のある夜、父親が赤い顔で帰ってきたのを見て、カズオさんは目に涙を浮かべて酒をやめてほしいと懇願した。父親は息子の頼みの熱心さに気付き、自分に禁酒してほしいのは親への愛情から来るものであることがわかったので、酒をやめる決断をした。彼のような地位にいる男性にとって断酒することは容易ではないが、その日から彼は一滴も酒を口にしなかった。

J. C. ギレスピー 栄冠幼稚園、福井

#### 17 頁

ヤスコさんはとてもすてきな若い夫婦の最愛の一人っ子である。彼女の父は大酒飲みで、飲んでばかりいた。母親は夫のことをとても心配し始めており、ヤスコが幼稚園で酒が体に大変悪いということを知ってきたので、自分も心配になった。彼女は父がお酒を飲むのを見てやめるように懇願した。娘が語ったことについて、幼稚園の教師は何も知らないのだと父親が笑い飛ばして言った時、彼女は泣いた。食事の後でほんの少しでも彼がお酒を飲むたびに子どもがひどくいたたまれない思いをしていたので、彼は家でお酒を飲まないことを決心した。

ヤスコはそれでは完全に満足できなかったもので、全面的に断酒してほしいと懇願した。このことが彼に考え直させ、妻と話し合った後で彼は酒をやめるつもりだと言ったが、強い習慣になっていた

のでそれはとても困難なことだった。彼の妻は母の会と母親達のバイブルクラスの活動メンバーだったので、幼稚園の先生に家庭訪問をしてほしいと頼んだ。彼らは喜んで、父親が家にいるときにやってくる教え、支えになるものが見つかるように援助した。

最終的に両親ともにキリスト教信者になることを決心し、クリスマスの聖日にそろって洗礼を受けた。彼らは今熱心なクリスチャンであり、幼稚園の日曜学校の教師になることを私たちは期待している。

E. L. ベーツ 金沢

### 18 頁

城之橋幼稚園では、幼稚園の予定表の印刷物が子どもたちの母親に毎月送られている。彼らの注目は教師から幼稚園の母の会に呼ばれることと、いつ家庭訪問があるかである。何人かは予定表で示されている様々な科目の学習に刺激を受けていた。

健康に関する幼稚園の歌を学習した結果、ある家では家族全員が朝冷たい水で沐浴をする。幼稚園で毎日午前10時に牛乳を飲むようになってから子どもの健康状態が良くなったことを両親は喜び、以前は牛乳を嫌って病気の時でも飲もうという気持ちにさせられなかった子どもが、今はいつでもそれをほしがらうようになっている。<sup>4)</sup>

A. キラム 城の橋幼稚園、福井

### 20 頁



写真 1.2 Kanazawa Hokuriku Jo Gakko Kindergarten, Sunshine School.

### 【補説】

20 ページには、金沢北陸女学校幼稚園の写真2枚が重なっている。このうち、1枚は、10数名の子どもたちが戸外で並んでいるもの、もう1枚は、帽子をかぶっているが裸で寝そべて日光浴をしているものである。

### 21 頁 健康教育

教師たちは健康について語ってきた。礼儀正しい子どもたちが適切な食事をし、顔を洗い、歯を磨き、太陽の下で遊び、健康な列車に乗って夜8時にはベッドに行く絵や、その他の絵が壁に飾られていた。

「食事と食事の間に一つ」と幼稚園で決められた時間より前に、父親がおよその時間でエミちゃんにお菓子を与えた。エミちゃんは拒んで、「だめよ。もしわたしがこれを食べたら、健康列車に乗れなくなってしまうの。」と言った。

夏の間3週間、特別な太陽の学校を開催した。それは健康と同様に宗教教育を特色とした。歌や賛美歌や戸外遊び、大学の医師の管理下に行われる日光浴、乾布摩擦、牛乳、静かに遊ぶ時間など、たくさんのプログラムがあった。毎日、昼食も和食と洋食を交互に準備した。昼食後子どもたちは1時間かそれ以上の午睡をし、家に帰る前に海綿で沐浴をした。この健康教育の価値を認識した幼稚園の親だけが、この特別な集会に子どもたちを送り出した。

I. ライザー 金沢と高岡の幼稚園

### 34 頁

#### 訳文省略

【補説】「幼稚園のコミュニティへの影響」というテーマで集められた9本のレポートのうち、4番目が青葉幼稚園のアムストロングによる報告記事である。第7巻(340ページ)に訳文があるため、ここでは省略する。内容は、幼稚園に転入してきた母親が、母の会会長として幼稚園の保育料値上げを要求したこと、信仰告白をするつもりであることなどを記している。

**44 頁 幼稚園の教師たちの影響**

ある人が言った。「若い子どもには、説教よりも人生のほうがより興味をそそるものである」と。キリスト教幼稚園の教師の与える影響で、この言葉がいかに真実であるかがわかる。実際幼稚園にいる数時間、教師は母親に代わって子どもたちに親しく接して、子どもたちを人生の正しい態度と習慣に導くことができるようにした。仏教が盛んなこの土地では、ほとんどの子どもが幼稚園ですべての宗教的な教育を受けている。

彼らは天にいる父のことを学び、ごく自然に祈り始め、自分たちの愛する家族に神の祝福があることを願う。暗記された聖書の言葉と賛美歌は、今もこれからの人生においても彼らを守り導く真理と信条を心に蓄える。

最近、一人の教師が、自分の仕事は華々しい仕事ではなく、地面に畑を耕すような仕事であると語った。集会に来た大勢の人々に説教をすることは、たゆむことなく土を掘り起こすモグラのように単調な作業であるけれども、土の表面には見えてこなくても次第に土が柔らかくなるようなものである、と。

幼稚園教師の仕事はおそらく世間一般の人には理解されていないであろうが、子どもたちを通じて家庭の中にキリストの教えが伝えられ、以前はキリストの教えを憎んでいた者も少数になる。母親が教会に出席するとやがてキリスト教信者になり、ほどなく家族もクリスチャンになる。時には成長した子どもたちがクリスチャンになる。馬場幼稚園に通っていた3人の娘たちは今や成長して最近教会で洗礼を受けた。彼女たちは忠実な信者で、教会のあらゆる活動に関心を寄せている。

I. ガブンラック 金沢 白銀幼稚園、  
馬場幼稚園、野町幼稚園

**4. 第24号 (1930年、昭和5年)**

該当する記事はない。

【補説】各支部報告は2日目の7月24日午前9:30～10:45に行われた。東海、関東、関西に続き、北陸支部からはミス・ガブンラックが報告したことが記されている。

**5. 第25号 (1931年、昭和6年)****17 頁**

京都府にある新舞鶴幼稚園について M. R. ペインが小浜で書いた記事はあるが、北陸三県にかかわる記事は掲載されていない。

【補説】この年の巻末リストの「Active Members」では、ペインの住所は「福井県雲浜村小浜西津」となっている。

また、寄附をした幼稚園のリストには、北陸女学校、川上幼稚園と十四番幼稚園、カナダ合同教会の5つの幼稚園の3団体が記されている。5つの幼稚園は、馬場幼稚園、白銀幼稚園、野町幼稚園、羽咋幼稚園、七尾幼稚園である。

**6. 第26号 (1932年、昭和7年)****18 頁～20 頁 金沢の幼稚園**

個々の子どもの実際の詳しい情報が、教師の側に絶対に必要であると改めて実感し、私たちはその目標に向けて少し試みてきた。その方法として、去年の4月から観察カードを取り入れていた。私たちは、これらのカードの用途と特色に従ってあらゆる情報を可能なかぎり集めた。次に、私たちが持っていたアイデアと結び付け、完璧というにはほど遠いものではあったが、自分たちの要求をある程度満たすカードを作ることに成功した。これを1年使って、その体験に照らしてカードを改定するつもりである。教師たちは月に一度集まって、発達の記録であるカードに表示された様々な観点から、子どもとその発達について論議をした。私はこれらのカードを使うアイデア



写真3 Sun-bath in the Hakui Kindergarten—  
Ishikawa ken.

が、個々の子どものためであると同様に、個々の教師のためであることを気に掛けている。なぜなら、カードの様々な観点から一人ひとりの子どもについてじっくりと検討することは、多くの教師にとっては新しい体験となり、最も熟練した教師にとっても優れたものに違いないからだ。

これらのカードは、母親と話す際や、家庭訪問をするときのしっかりした根拠となった。

昨年春、子どもたちの健康を増進させる実践的な方法を取り入れることにした。私たちが採用した案は大成功を収めたが、それは、幼稚園で昼食を作って提供することだった。ご飯だけを子どもたちに持って来させ、残りは幼稚園で用意するのである。母親たちは、「タロウは魚を食べようとしなだの、ハナは固ゆで卵ばかり食べ、他の物を食べない」と、しきりに嘆いている。このように、昼食を提供する第一の目的は、十分栄養のある昼食を子どもたちに与えることはもちろん、よい食習慣を確立することであった。母親たちはこの経費に対して喜んで特別な費用を払った。

この案は、日照が不足する西海岸に住んでいる子どもには特に必要であり、普通以上に食事療法が重要であることを認識している母親から盛んな協力を得た。それだけ多くの子どもたちが、栄養不良と日光の不足のせいで体の不調に苦しんでいた。

特に平均以下の体格で、実践しようにも出席が十分ではない子どもたちのいる幼稚園では、昼食を改善するアイデアに加えて、一ついでというわけではないが、一「太陽の学校」と呼ぶものを始めて可能な限り日光を利用することに決めた。母親たちが集まって子どもたちに日光浴の服を作った。こうして、日光浴と午睡後の戸外遊びが、日課の一部となった。

それぞれの幼稚園に体重計が備えられ、子どもたちは毎月体重と身長を測定をされ、必要な家には結果が送られた。

私たちはより一層自由遊びを取り入れ、保育時間には本人の決定と能力に応じてより適切な場を提供しながら、一人ひとりの子どもの要求に添うようにしている。いくつかの幼稚園では、一人ひとりの子どもが各自の用具を保管できて自由に使うことができる自分専用のロッカーを持っている。

最近、子どもの中に畏敬と崇拜の気持ちが深まってきており、この時間が一日のうちでもっともよい時となる成果を挙げている。

E. レディアード

#### 【補説】

レディアードは、当時白銀、馬場、野町、羽咋幼稚園の園長を務めていた。



写真4 The afternoon nap—Hakui Kindergarten Ishikawa ken.

#### 25頁 西津幼稚園 小浜

私たちの幼稚園では、一人か二人の子どもが甲高い声でおしゃべりをして、あらゆる質問に回答し、聞く者にはほとんど意味のない雑多な叫び声を繰り返すという同じ問題に直面している。

サブローちゃんは、30人もの他の子どもの人格をないがしろにするという犠牲を払って、個人の発達に関わる問題を示してくれた。多大な骨折りとそつのない指導のおかげで、サブローちゃんは自分が話す前に耳を貸す努力をすれば、他の子のおしゃべりも並々ならぬ関心をもって聞くという確信を持つに至った。彼は元気で面白い子どもだったが、他の子どもたちと普通に会話をする場合にはほとんど死んでいる状態だった。子どもたちが一斉に話をする興味深い「バベル」※1のような段階に達したが、それは徐々に取り除かれて、知的に聞いたり、みんなが心から参加するようになった。

興味深い段階にある問題の中心は、清潔なエプロンやしゃれたオーバーコート、かわいらしい新品のドレスなどへの宗教的な畏敬によって幼稚園に築かれてしまった気後れの原因を取り除くことだった。子どもたちは他の子どもを気にして、一

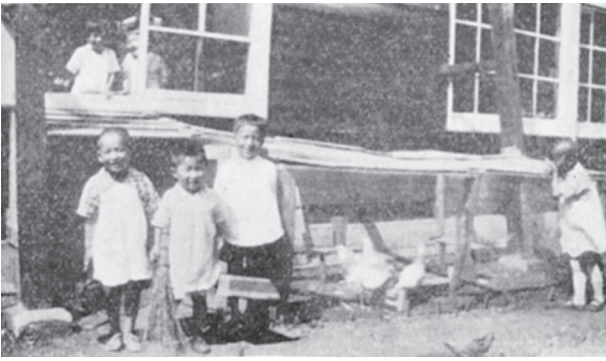


写真5 “Toban” Fukui ken Obama.

人で話したり立って歌ったりする際にどう見られるかを心配していた。

私たちの1学期の教育課程は「主の祈り」に基づき、1週間の学習計画の主題句としてフレーズごとに取り上げた。例えば、「天にましますわれらの父よ」はとても単純で、子どもたちの父親や彼の家族、親戚を自然に幼稚園に連れてきた。さらに、「み国を来たせたまえ。天になるごとく」は、幼稚園での社会的関係への学習計画をもたらした。それは、私たちの小さな世界における創造主の業の象徴である植物や鳥の世話などである。このプログラムは一人ひとりの子どもに自分



写真6 “For Thine is the Kingdom” Prayers on the weekly picnic. Fukui ken-Obama.



写真7 Our Korean friends, Fukui ken-Obama.

の価値と責任を感じさせるように、細部にわたって力づけ、明確な影響を与えることを願っている。それを1学期のプログラムとして取り組んでみるとよい。学習計画として適した歌、ゲーム、リズムや手芸品を子どもたちが選ぶように、これらの美しい言葉がどのようにして新しい霊的な光の中に彼らを順応させるのか、教師側にも魅惑的で向上させる勉強である。

自分たちの努力に対しては厳しく批判しているが、私たちの実際の活動は賞賛に値する。教師として私たちは、近所に広まっている意味のないおしゃべりを聞かないようにしている。私たちは子どもに関するほんの些細な情報も収集するが、特に「うわさになった」時には、その情報を使わないようにする。

私たちは自分を大いに笑うことはあるが、決して他人を笑うことはない。その点の違いを評価できる。特に音楽鑑賞の時間には、新鮮で新しい考えを高く評価する。誰もが他の子どもと競い合っ「音楽的な物語」について面白い解釈を考え出した。子どもたちそれぞれの考えは、他の子どもによって楽しんで試された。

幼稚園では何人かで力を合わせて楽しむことを力説しているが、昼食時間は個人的な面が強く作られている。最初は近い範囲の仲間とだけ一緒に座り、食べている間は仲良しになった。それ以来、一人ひとりの名前を外側に書いたカップを用意し、それを満遍なく組み替えてテーブルに置くようにした。その結果、誰もが平等で他のみんなと同じようによい関係にあり、大きい子も小さい子も、韓国人※2も日本人も、お金持ちの子も貧乏人の子も、私たちにとって全く同じであった。



写真8 We are pleased with the new rabbit house. Fukui ken-Obama.

小さな鳥が入っているかごには、雌鳥と幼稚園で孵化した3羽のひよこが入っていて、たいていウサギが部屋中走り回り、庭にいる雄鳥を、毎日選ばれる3人の当番が責任を持っていた。※3この親密な活動の時間は、担任の教師が実際に個人の発達に関わる機会である。鶏のえさやウサギのえさ※4などは、これらをかわいがる一人ひとりの責任感によって子どもたちが準備した。

こうして小浜※5での日々が過ぎ、子どもたちの個性を際立たせるたくさんの機会、礼拝や自由遊びやクラスの係の責任感に対する自発的な態度、子どもが幼稚園の始まりから午睡やゲームをして家に帰るまで、子どもに伴っている音楽によって、すべてよい方向に向けられ大きくなった。

M. ペイン

【補説】※25～28ページに、小浜にある西津幼稚園の写真が4枚ある。(写真4～8)

※1：旧約聖書創世記にあるバベルの塔のことで、それまで一つであった人間の言葉が神の怒りにより混乱させられ、互いに通じない状態になった。

※2：写真7参照。「Our Korean friends」というコメントがある。

※3：写真5参照。家畜の世話をしている子どもが竹箒を持っている。

※4：写真8参照。新しいうさぎ小屋を子どもたちが囲んでいる。

※5：小浜は福井県の地名で、西津幼稚園の所在地。当時の園長は山田拓牧師であり、ペインはActive Memberとして記載されている。また、1934年は人名の記載がないが、1935年からはペインが園長として載っている。(5. 第25号17頁の補説参照)。

### 30頁 聖三一幼稚園 福井

今年園の場所が変わった※1ため、子どもたちの顔ぶれがすっかり変わった。そこで、一般的でバランスのとれたプログラムだけ行うようにした。屋外と屋内の遊具が設置されていて、遊びに大きな刺激となる縄梯子※2と大型の「パティヒル」※3の積木があった。

聖書の話と賛美歌と聖句の暗唱を伴う朝の礼拝は、それぞれの子どもに信仰心を養うのに役だっ

た。子どもたちは几帳面に日曜学校にやってくる。

私たちは一般に必要な健康習慣を養うように努め、雨の多いこの地方ではなかなかできない戸外遊びを極力多くしている。雨の日のためには、屋内の遊戯室がある。毎日午前中の決まった時間に休憩を取る。まもなく毎朝決まったミルク休憩の時間を始めたいと願っている。

C. R. パウエル

【補説】この箇所を含む福井県の幼稚園に関しては、児玉らが聞き書きとしてまとめている。<sup>5)</sup>一部重複するが、概要を記すにとどめている部分もあるため、再度取り上げた。

※1：福井市江戸下町（現在の福井市春日）から宝永中町へ移転した。

※2：具体的な遊具についての説明である。ラダーは遊具の一種。縄ばしごを横につないだり、網状になったりしたものがある。バランスを保つために腕力が鍛えられ、何人も同時に登れるので、さまざまなごっこ遊びにも適している。

※3：パティ・ヒル (Patty S. Hill) は、アメリカ幼稚園運動の指導者の一人であり、「コンダクトカリキュラム」の創始者。子どもの自己活動を促す指導を試み、長年にわたる研究、試行の中で考案したものが、「ヒルの積木」と呼ばれる遊具である。

## 7. 第27号 (1934年、昭和9年)

1933年は発行されなかったため、1934年が27号となる。

1934年は北陸三県に関する記事はない。

## 8. 第28号 (1935年、昭和10年)

4頁



写真9 Nishizu Kindergarten, Obama—Yonohito Yo Mina.



【補説】この写真は、前掲した写真7と同一のものであるが、付けられている説明が異なっている。異なる写真を使うつもりでまぎれてしまったのかどうかについては不明。

5頁 【補説】該当する記事は載っていないが、関係する人物の話題として次の2点がある。

一つは、総会の中の図書委員会報告において、青葉幼稚園園長のアームストロングが新しい「鳥の目録カード」<sup>6)</sup>を紹介したこと、もう一つは、音楽委員会で西津幼稚園園長のペインが、新しい音楽の本『幼稚園のための音楽教材』を紹介したことである。この教材は、幼稚園教師の強力な助けになり、また、『幼い子どものための音楽』を補足するものとして紹介されている。さらにペインは、リクエストに応じて歌を2曲歌っている。1931年(昭和6年)にも、ペインは『あそびませう—小さい子どもの歌遊びとリズム』を出版している。十四番幼稚園園長だったベーツの「E. L. B.」のサイン入りのテキストが現清泉幼稚園に残っていることから、活用されていたことがわかる。

7頁



写真10 Untamed and Domestic Animals. — Ryojo Kindergarten, Obama.

【補説】写真9、10ともに地名は小浜となっている。写真10は「柳城幼稚園」(愛知県)となっており、名前からは別の幼稚園の写真であると考えられるが、園舎の窓の形状、窓枠横に立てかけられた木(丸太)の位置などから、同一の園であると判断できる。

## 11頁 幼稚園報告の概要

小浜幼稚園園長 ミス・ペイン アメリカ聖公会

私たちは、音楽にほとんどなじみのない地域へ音楽のすばらしさを発信しようと、実際試みてきた。

この1年間、前の週に子どもたちが習った歌とその週の主題テーマ及び日々の展開に関する簡単な概要からなるお便りを毎週発行した。例えば、初期の段階では、「主の祈り」を教えているとき、「天にまします我らの父よ」という聖句は、「天にいます」という祈りの歌や、同様に短い本国の歌「ウサギのおうち」を教える機会となった。さらに、「私たちの日用の糧」の意味を教えたときは、食前に感謝の祈りの「いのちの糧も」を歌った。また、「種を蒔いたところから収穫すること」を音楽的なつながりで紹介する穀物の歌「もみもたくさん」は、年間のプログラムの一部であるが、子どもたちの成長に効果があっただけでなく、毎週できるだけわかりやすく簡潔にした母親へのお便りを出した。さらに、子どもたちの音楽的な発達に用いた週計画についての継続的なお便りを保存するため、外側に絵がある耐久性のあるカバーを、これらのプログラムの最初のお便りと一緒に配布した。

収穫感謝祭の母の会で、お便りを保存していた何名かの母親から、子どもが家で歌うのでお便りを参考にしたと聞いた。(先進的な家庭では、実によくさんの歌を家で歌うことを私たちはみな知っている。これは、音楽を通して私たちの信仰の精神的な価値を広める素晴らしい機会だと言えないだろうか。)ある母親は、イチローさんが新しい歌が出ているお便りをどんなふうに振りながら家に帰ってくるかということや、歌詞や旋律について盛んに言い合っていたときに、歌詞を書いた紙を親たちの前に置いたことを、可能な限りの時間を使って実に詳細に話してくれた。予定表に知っている歌が出てくるので、イチローさんだけでなく、彼女もそっと歌っていることを聞いて私たちも得意になった。私たちが送った音楽的なメッセージに反応があったように、私の祈りが毎週聞き届けられるなら、たとえわずかではあっても母親たちと音楽を通して心を通わせることになるであろう。今私たちは1月に行う音楽の母の会

に向けて進めている。そこでは良い音楽をたくさん聴いて、自分たちで何かを作ることになっている。こうして母親たちの心に音楽が大いに必要であることが少しずつ理解されるようになる。

12 頁



写真 11 Our Daily Bread—Nishizu Kindergarten, Obama.

13 頁



写真 12 Exercize Nishizu Kindergarten, Obama.

13 頁 北陸女学校幼稚園

I. ライザー 校長

10月に金沢の北陸女学校幼稚園は、フランシナ・ポーターによって創立された50周年の記念日を祝った。この幼稚園は日本で創設された最初のキリスト教の幼稚園であるという名誉を持っている。記念行事は演劇祭と、市内のメソジスト幼稚園が参加した母の会と記念式典と同窓会とからなっていた。

10年以上この幼稚園に奉職した6人の教師たちが、感謝状により功績と才能を讃えられた。

【補説】10月24日に開かれた50周年記念行事の際、十四番幼稚園園長のオ・シー・リンゼーが来賓の一人として祝辞を述べた。メソジスト幼稚園代表ということで、「キリスト教主義の六つの幼稚園はこの幼稚園にとりまして妹の様なもの」と記されている。<sup>7)</sup> また、十四番幼稚園からも母の会の会員9名の参加者がいたことが園の記録に記されている。

14 頁

栄冠幼稚園の子どもたちは、幼稚園で給食が用意される金曜日を心待ちにしていた。教師たちが白いエプロンをつけて野菜やスープのことで大騒ぎしているのを見るのは大変面白い。家では絶対に食べようとしないものでも、そのようなときはおいしく味わった。そのうえ、大人たちが食物の重要性について学ぶ機会があり、母親たちはこうして得た知識を家に持ち帰った。

## 9. (1939年、昭和14年)

19 頁 総会記録

【補説】1937年から1939年の合併号として出版された。総会記録のみで部会報告はない。長年の功績を讃えて13人のメンバーが表彰された中に、ミス・ポーター（唯一の1st Certificate）とアームストロング（2nd Certificate）の名前がある。

J. K. U. は、翌1940年7月に基督教保育連盟の傘下に入ったため、1939年はJ. K. U. 最後の年次総会となった。報告書も1937年からの内容が含まれており、タイトルは「年次報告」(Annual Report)ではなく、「議事録」(Minutes and Note)となっている<sup>8)</sup>

## 10. 終わりに

今回取り扱った期間の記事は、従来の記録に比べ幾分体裁が異なっている。原稿の数に変動があるほか、全く刊行されなかった年（1933、1936年）もある。いくつかの要因はあろうが、懸案であった日本人教師たちによるキリスト教幼稚園の活動組織作りが具体化したことの影響が考えられる。

また、支部報告を行った園にも偏りが見られる。1929年までは随時見られた富山県の幼稚園に関

する報告は、この年以降掲載されていない。一方で1932年、1935年と、福井県（小浜を中心とする幼稚園）の報告がかなりの分量を占めている。個別の園の事情とテーマによるのであろうが、詳細は不明である。

児玉が執筆を開始した最初の原稿（2002年）から本稿まで8年が経過したが、ひとまず所期の目的を達成したと言えよう。しかしながら、これらは基礎資料としての予備的作業の終了に過ぎない。本稿以外にも紙面の制約上不十分だった記述に関しては稿を改め、新たな視点から縦断的横断的にまとめていきたいと考えている。

### 謝辞

本文の訳及び写真転載に関しまして、社団法人キリスト教保育連盟より許諾をいただきました。ここに記して感謝申し上げます。また、資料検索に関しては、福井県立図書館、越前市立図書館、富山県立図書館、富山市立図書館の資料課の方々にお世話になりました。記して感謝申し上げます。

本文中の外国人名の表記は、原則としてJ.K.U.の第7巻の人名索引に従った。前号までの表記に従い、日本人名に関しては漢字表記が判明している者もいるが、すべてカタカナ表記とした。

### <注>

今回は紙面の制約上、訳文をやや簡略化した表現とし、補説部分を一部省略している。

- 1 拙著「北陸地方のキリスト教保育史—J.K.U.年報からの翻訳と解説（5）—」2009 p 151～168

なお、号数の表示にミスがあった。正しくは以下のようになる。

3. 第18号(1924年, 大正13年)、4. 第19号(1925年, 大正14年)、5. 第20号(1926年, 大正15年)、6. 第21号(1927年, 昭和2年)である。

- 2 児玉衣子「聞き書き 石川県のキリスト教保育を担った人々（1）付：JKU年報1-5号にみる北陸地方の記録」『北陸学院短期大学紀要』第34号 2002 p 1～20から始まる。以下、同「北陸地方のキリスト教保育史—JKU年報から(2)—」『北陸学院短期大学紀要』第35号 2003 p 1～12

- 同「北陸地方のキリスト教保育史—JKU年報から(3)—」『北陸学院短期大学紀要』第36号 2004 p 1～12

- 山森泉・児玉衣子「北陸地方のキリスト教保育史—JKU年報からの翻訳と解説（4）—」『北陸学院短期大学紀要』第39号 2007 p 79～104

- 3 学校法人清泉幼稚園『創立65周年記念誌 清泉（十四番）幼稚園のあゆみ』1991
- 4 児玉衣子・菅原創・上垣信子「聞き書き 北陸地方のキリスト教保育史（1）福井県」『北陸学院短期大学紀要』第32号（2000）に、既に概略が書かれている。合わせて参照されたい。
- 5 注2参照。
- 6 アームストロングは、1926年にも教文館から『小鳥のささやき』という鳥の図鑑を出版している。
- 7 拙著「昭和初期の北陸地方キリスト教幼稚園教育（1）—十四番幼稚園『幼稚園記録』より—」『北陸学院短期大学紀要』第36号 2005 参照
- 8 『ANNUAL REPORT OF THE JAPAN KINDERGARTEN UNION』7巻 7章 解説「『基督教保育連盟』とJ.K.U.」参照のこと。p 367～369

### <参考文献>

- 1) 『富山県統計書』
- 2) 『富山市統計書』
- 3) 『福井県史』
- 4) 『福井統計書』
- 5) 『ありがとう かみさま』1985 日本キリスト教団福井神明教会付属緑幼稚園
- 6) 学校法人川上幼稚園「母の会記録」
- 7) キリスト教保育連盟編『ANNUAL REPORT OF THE JAPAN KINDERGARTEN UNION』7巻（解説）
- 8) 児玉衣子・菅原創・上垣信子2000「聞き書き 北陸地方のキリスト教保育史（1）福井県」『北陸学院短期大学紀要』第32号 p1-28
- 9) 『主の恵みに支えられて—福野青葉幼稚園創立七十周年記念誌』1997 学校法人福野青葉幼稚園
- 10) 『清泉（十四番）幼稚園のあゆみ』1986 学校法人清泉幼稚園
- 11) 『創立七十五周年 かみさま ありがとう』1983 日本キリスト教団福井神明教会付属栄冠幼稚園
- 12) 北陸学院百年史編纂委員会 1900 『北陸学院百年史』
- 13) 山森泉・児玉衣子「北陸地方のキリスト教保育史—JKU年報からの翻訳と解説（4）—」『北陸学院短期大学紀要』第39号 2007 p 79～104

参考資料 KINDERGARTEN BELONG TO THE UNION.

従来とは異なり、巻末リストの表形式は教派教団ごとに作成されている。園ごとの一覧により教師の異動、園児数、保育料などの変動を見ることができる点は、これまでの基礎資料と同様である。

今回の資料は、6巻に収められている1928年～1939年の巻末リストから北陸三県の幼稚園に関する統計表を園ごとに一覧表として作成した。12年間のうち、7年分(1928年、1930年、1933年、1936年、1937年、1938年、1939年)は、巻末リストが存在しない。今回はミッションボードごとの一覧表として掲載されているため、本資料もそれに倣ってリストの記載順に、1) 聖公会、2) 北米長老会、3) カナダメソジストとして作表した。

1928年～1939年までの表は、園長・教師名、園名、所在地、登録人数、平均出席、授業料、入園料の順になっているが、園ごとの移動・変化が分かるように、下記順に改めた。なお、1929年は教師名の記載はなく園長名のみ、入園者数の見出しは「Enrolled」となっているが、1931年以降は「No. on Roll」である。

表記に関しては『北陸学院大学短期大学部紀要』第1号掲載の表と同じ基準での表記に統一した。地名・園名は漢字表記を原則とし、漢字表記が未確定な者も多いため日本人教師はカタカナ表記で統一した。外国人名は元の表記のままとした。

1) 聖公会

- 1931年 American Protestant Episcopal
- 1932年 American Episcopal
- 1934・1935年 American Church Mission Kyoto District

園名	所在地	園長と教師	掲載年	入園者	平均出席	保育料	入園料
聖三一幼稚園	福井	Miss Powell	1929年	15		1.50	
		C. R. Powell A. R. タエコ	1932年	17	16	1.50	1.00
	福井市 宝永中町	園長1 教師2	1934年	28		1.50	1.00
		Miss Cecil R. Powell 教師2名	1935年	25		1.50	1.00
西津幼稚園	小浜	Rev. ヤマダ タスク イマダテ カヨコ アシハラ リウ	1931年	30	18	.70	
		Rev. ヤマダ ツク ※1	1932年	30	27	.70	
	福井県 小浜 Umpinmura ※2 西津	Miss ツガイ Miss トライ	1934年	42		.70	
		園長1 教師3 Miss Margaret R. Paine 教師1名	1935年	26		.70	

※1 ヤマダ ツク：1931年と同様、「ヤマダ タスク」。山田拓

※2 Umpinmura：遠敷郡雲浜村(おにゅうぐん くもはまむら)。1935年4月1日より西津村、小浜町と合併して小濱町となる。

2) 北米長老会

- 1931年 Northern Presbyterian
- 1932年 Presbyterian Church Northern (U. S. Å.)

※1934年はPresbyterian Northernの表に記載されているのは、高松、丸亀、岡崎の3幼稚園のみであり、北陸女学校の2幼稚園はない。

- 1935 Presbyterian Northern

園名	所在地	園長と教師	掲載年	入園者数	平均出席	保育料	入園料
北陸女学校附属	金沢	Miss Reiser	1929年	76		2.00	
北陸女学校附属英和幼稚園		A. I. Reiser タナベ コシムラ ミヤモト ツジウラ	1931年	98	75	2.00	1.00
北陸女学校第一幼稚園		Miss A. I. Reiser Mrs. タナベ Mrs. コシムラ Miss ミヤモト Miss オオニシ	1932年	76	73	2.00	1.00
		Miss A. I. Reiser Mrs. タナベ Mrs. コシムラ ソト Miss ミヤモト アサコ Miss イノウエ	1935年	101	80	2.50	1.00
北陸女学校附属	高岡	Miss Reiser	1929年	65		1.50	
北陸女学校附属英和第二 ※	富山県 高岡	A. I. Reiser オヤマ ミナミ イノウエ	1931年	78	60	1.50	1.00
北陸女学校第三幼稚園	高岡	Miss A. I. Reiser Mrs. オヤマ Miss ミナミ Miss イノウエ	1932年	61	58	1.50	1.00
		Miss A. I. Reiser Mrs. オヤマ トク Miss タカギ	1935年	45	33	1.50	1.00

※本来の「第二」は富山市にあったが、1921年閉鎖された。以後1931年まで高岡の「第三幼稚園」が県・市の統計書においても「第二」と表記されている。

3) カナダ・メソジスト

- 1931年・1932年 United Church of Canada
- 1934年 W. M. S. United Church of Canada

※敦賀幼稚園のみ 1935年 United Church of Canada の表に分類

【石川県】

園名	所在地	園長と教師	掲載年	入園者数	平均出席	保育料	入園料
川上幼稚園	金沢	E. L. Bates サイグサ ツネ ※1 シナムラ ユミ アカオ フミ	1931年	65	55	1.50	1.00
		E. L. Bates ハヤミス エイコ シナムラ フミコ アカオ フミコ	1932年	66	52	1.50	
		Olivia C. Lindsay クサカ ヨシエ シナムラ フミコ	1934年	60	50	1.50	1.00
		アカオ フミコ	1935年	60	50	1.50	1.00

北陸地方のキリスト教保育史

十四番幼稚園	金沢	E. L. Bates ハタダノミサオ シモト	※2 ※3	1931年	55	41	1.00	1.00
		E. L. Bates タダノサダコ ユアサハルコ シモダマサキ		1932年	52	48	1.00	
		Olivia C.Lindsay タダノサダコ イナガキミコ シモダマサキ		1934年	63	55	1.30	1.00
広坂通幼稚園	金沢	Olivia C.Lindsay カネダコヨシ ジンボ		1934年	40	32	.80	1.00
		Olivia C.Lindsay ツチグチウメツ ジンボ		1935年	40	32	.80	1.00
馬場幼稚園	金沢	Miss Govenlock		1929年	60		1.00	
		E. Lediard タカムラオサム ハヤミズエイコ ナカヤウメコ		1931年	65		1.00	1.00
		Ella Lediard タカムラオサム ヤナガワマサ ワナベカズ	※4	1932年	63	52	1.00	1.00
		E. Lediard ワニベカツコ ニッタアイコ クラタミチコ		1934年	65	58	1.20	1.00
白銀(シロカネ) 白銀町 白銀-町 白銀町幼稚園 (シロカネチヨウ)	金沢	Miss Govenlock		1929年	44		1.00	
		E. Lediard カノシズエ マツダイラズズシ シノハラキミオ		1931年	50		1.00	1.00
		Ella Lediard カノシズエ マツダイラズズシ		1932年	43	35	1.00	1.00
		E. Lediard マツダイラズズシ? ※5 カイリヤマアカシ		1934年	50	43	1.00	1.00
		Louise Callbeck マツオカサダ カイリヤマアサヒ		1935年	50	43	1.00	1.00
野町幼稚園	金沢	Miss Govenlock		1929年	65		1.00	
		E. Lediard モリツヤコ チサカハナエ ツシムロマツコ	※6	1931年	60		1.00	1.00
		Ella Lediard モリスヤコ チサカハナエ イシムロマツ	※7	1932年	62	48	1.00	1.00
		E. Lediard モリツヤコ イシムロマツコ ミタニサチコ		1934年	60	55	1.20	1.00
羽咋幼稚園	羽咋町 能登	Miss Govenlock		1929年	42		.50	
		E. Lediard カネダコヨシ クロイワツル		1931年	45		.50	1.00
	羽咋町	Ella Lediard カネダコヨシ クロイワツル		1932年	38	33	.50	1.00
		E. Lediard サイトウトミ クロイワツルコ		1934年	55	47	.50	1.00
		Louise Callbeck ヨコイオ? エカズコ ※8 ヤマザキハナコ		1935年				
七尾幼稚園	七尾	Miss Govenlock	※9	1929年	62		.50	
	七尾町、能登	E. Lediard ハライチスイ サイトウトミ カウムラテル		1931年	60		.70	1.00
		Ella Lediard サイトウトミ カウムラテル カワイユリ		1932年	65	52	1.00	1.00
		E. Lediard ハラダコト ヤナガワマサコ		1934年	50	43	.70	1.00
		Louise Callbeck ハラダコト ヤナガワマサコ シライヒサコ		1935年	50	43	.70	1.00

※1 シマムラユミ:シマムラフミコ(島村文子) ※2 タダノサダ:タダノサダコ(田多野貞子)

※3 シモト:シマダマサキ ※4 ワナベ:ワニベ ※5 スズシ:スズシ

※6 ツシムロ:イシムロ ※7 モリスヤコ:モリツヤコ ※8 ヨコイオ:ヨコイエ

※9:1929年 羽咋幼稚園の欄(追加)

1929年の統計表では、カナダメソジスト福井地区の幼稚園として栄冠、福井、城之橋、聖三一の4園が記載されているが、「Fukui」の園長が金沢地区の馬場、白銀、野町と同じMiss Govenlockであることから、羽咋幼稚園「Hakui」の誤りであると推察できる。

【富山県】

福光	福光	Miss Tweedie ノグチ キムラ	1931年			.80	.50
福光幼稚園	富山県 福光町	E. Gertrude Tweedie キムラ マサオ ワタリ シヅ	1932年	36	32	.80	
			1934年	30	25	.80	
			1935年	38	33	.80	
福野	福野 富山県 福野町	Miss Tweedie アラキ ヤマモト	1931年			.80	.50
(福野) 青葉分園		E. Gertrude Tweedie アラキ ミエ ヤマモト ケン	1932年	35	29	.50	
福野青葉幼稚園			1934年	36	29	.50	
			1935年	35	30	.50	
出町	出町	Miss Tweedie センゴク カブラキ	1931年			.80	.50
出町 (出町) 青葉分園	富山県 出町	E. Gertrude Tweedie センゴク フミ カグラゲ タツ ※1	1932年	35	29	.50	
出町青葉幼稚園		E. Gertrude Tweedie カブラギ タツ イワカワ ユシ	1934年	35	29	.50	
			1935年	43	35	.50	
八尾分園	富山県	M. E. Armstrong タグチ Miss アオヤマ Miss	1931年	40	35	.80	.50
八尾		イチカワ ヤヨイ タグチ アイ ナリタ エイ ※2	1932年	36	32	.80	
青葉幼稚園 八尾分園	富山県 八尾町	イチカワ ヤヨイ ナリタ アイ タグチ アイ	1934年	32	28	.80	
			1935年	32	28	.80	
速星		M. E. Armstrong Mrs. R. キトウ (キト?) ※3 アオヤマ マサ	1932年	15	14	1.50	.50
アオバ幼稚園 速星分園 ※4	富山県 婦負郡 速星村	イチカワ ヤヨイ アオヤマ マサコ	1934年	17	14	1.00	.50
青葉幼稚園 速星分園		イチカワ ヤヨイ カワムラ テル ナカムラ ムツ	1935年	30	27	1.30	.50
青葉幼稚園	富山	Miss. Armstrong	1929年	80		2.00	
	富山市	M. E. Armstrong イワカワ Y. オオヤマ M. キムラ F. ワタリ S.	1931年	65	58	2.00	1.00
	富山市 総曲輪町 374	M. E. Armstrong イワカワ ヒロ ナガエダ マサコ オオヤマ マサ カミオ クミ	1932年	56	50	2.00	
		M. E. Armstrong イチカワ ヤヨイ オオヤマ マサ カミオ クミ ※5 モリ タミエ	1934年	50	46	2.00	.50
			1935年	50	46	2.00	.50
青葉 東側 1920		Miss. Armstrong	1929年	45		1.50	
青葉、東側分園	富山	M. E. Armstrong ミユラ R. (ミウラ?) ※6 ナリタ K. モリ T.	1931年	45	40	1.50	.50
青葉幼稚園の東分園	富山市北新町教会	M. E. Armstrong キムラ フミ ※7 ナリタ カズ モリ タミエ	1932年	30	25	1.50	.50
青葉幼稚園 東分園		M. E. Armstrong キムラ タネ ナリタ カズ	1934年	28	23	1.50	.50
			1935年	28	23	1.50	.50
新庄 1927	富山	Miss. Armstrong	1929年	25		.50	
橋北 1925	富山	Miss. Armstrong	1929年	40		1.00	
青葉、北側分園	富山	M. E. S (A) rmstrong ※8 イナガキ M. ノハラ	1931年	35	30	1.50	.50
橋北	富山市	M. E. Armstrong イナガキ ミヨシ Mrs. ノハラ	1932年	29	26	1.50	.50
青葉幼稚園の 橋北分園	富山市 神通町 942	M. E. Armstrong イナガキ ミヨシ ノハラ ヨシノ	1934年	30	29	1.50	.50
青葉幼稚園 橋北分園			1935年	30	29	1.50	.50
石動	石動	Miss. Armstrong	1929年	20		.80	
石動分園	富山県	M. E. Armstrong コヤマ Y. コヤマ Mrs.	1931年	32	28	.80	.50
石動	石動町	M. E. Armstrong コヤマ ヨシ Mrs. コヤマ	1932年	29	24	.80	.50
青葉幼稚園の 石動分園	富山県	M. E. Armstrong コヤマ ヨシ	1934年	30	28	.80	
青葉幼稚園 石動分園	富山県 石動町	オカダ ミヨシ	1935年	30	28	.80	

※1 カブラゲ タツ：カブラギタツ ※2 ナリタエイ：ナリタアイ ※3 キトウ：  
 ※4 「GABA」は「AOBA」（青葉）の誤り ※5 1934年は「カミヨ」 ※6 ミユラ：ミウラ  
 ※7 フミ：クミ ※8 Armstrong

【福井県】

旭幼稚園	大野	Miss Gillespie	1929年	40		.70	
	大野町、福井県	E. E. Jost タケザワ リュウ クノリ コウ	1931年	58	50	.70	.50
	大野、福井県	E. E. Jost Miss タケザワ Miss クノリ	1932年	49	42	.70	1.00
	福井県 大野町	E. L. Ryan Miss タケザワ リュウ ※1 Miss オクノ サキコ 助手	1934年	35	30	.70	1.00
栄冠幼稚園	福井	E. L. Ryan タケザワ リュウ ヨコヤマ アヤコ	1935年	34	30	.70	.50
		Miss Gillespie	1929年	60		1.50	
	福井市	E. E. Jost ヒシモト ユリコ ※2 ナカノ ヨネコ オクノ サキコ	1931年	52	42	1.20	1.00
		E. E. Jost Miss ヒシモト Miss ナカノ Miss オキモ ※2	1932年	47	39	1.50	1.00
E. L. Ryan Miss ナカノ ヨネ Miss ササノ トシ Miss タケザワ フミ助手		1934年	48	40	1.50	1.00	
緑幼稚園	丸岡	E. L. Ryan ナカノ ヨネ サイトウ ミチ タケザワ フミ	1935年	48	39	1.50	1.00
		Miss Killam	1929年	45		.70	
	福井県 丸岡	Mrs. C.P. Holmes サカモト マツ ※3 ナカムラ ジュンコ	1931年	35	30	.70	.50
		L. Rorke Mrs. サカモト Miss ナカムラ	1932年	34	29	.70	
福井県 丸岡町	Miss E. L. Ryan Miss ヤスラ ミチコ Miss ワキモト フミコ助手	1934年	35	32	.70		
	E. L. Ryan ハギワラ ヨシエ ムラカミ トミエ	1935年	30	23	.70		
城之橋 (YONOHASHI) 橋	福井	Miss Killam	1929年	30		1.50	
	福井県 YONOHASHI	L. Rokre Miss ニシ Miss ニシ	1932年	32	27	1.50	1.00
城之橋幼稚園	福井市	M. L. Rokre Miss コバヤシ Miss ミツミ ニシ	1934年	26	21	1.50	1.00
		M. L. Rokre コバヤシ マツ ニシ ミツミ	1935年	27	22	1.50	1.00
丸岡幼稚園	福井県 丸岡	L. Rokre Mrs. サカモト	1932年	31	25	.70	1.00
敦賀幼稚園 1932年記載なし	敦賀	Miss Gillespie	1929年	20		1.50	
	福井県 敦賀	Mrs. C.P. Holmes フジモリ ミサオ サブロマル トキコ	1931年	26	25	1.20	1.00
	敦賀	Annie Holmes フジモリ ウシヤマ	1934年	35	27	1.00	1.00
		Mrs. C. P. Holmes Miss フジモリ Miss ウシヤマ	1935年	29	24	1.20	1.00
※4 福井幼稚園 1927年創立	福井	Miss Govenlock	1929年	42		.50	

※1 タキザワはタケザワの誤り

※2 栄冠幼稚園の記録によれば、菱本百合子（大正14～昭和7）、中野米子（大正14～昭和12）、奥野咲子（昭和5～昭和8）、笹野利子（昭和9～昭和10）、竹沢文子（昭和8～昭和12）、斉藤道子（旧姓中西、昭和10～昭和12）である。なお、1932年の「OKIMO」は「奥野」の誤りであろう。

※3 緑幼稚園の記録では、坂本睦子（大正7～昭和8）、安良道子（主任として着任 昭和8～10、昭和14～17）、脇本（昭和8～）、萩原（主任 昭和11～）以外は、資料散逸のためか確認できない。

※4 ※ 福井幼稚園の名前は1929年のリストにしか出ていない。教団は、U. C. of Canada である。カナダ・メソジスト〔石川県〕の表外※9参照のこと。  
このほか、1929年表中、所在地石川の石川という園名の幼稚園（1928年創立 Evangelical 園長名記載なし、登録者37名、保育料1.00）があったが、不明。石川県以外の園を誤記した可能性もあるが未確認。

22号から30号（6巻）は以上である。